

2022 年 3 月期 取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、持続的な成長と企業価値向上に向け様々な取組みを実施しております。
この度、コーポレートガバナンス・コードの要請に基づき、取締役会の実効性について分析・評価を実施しましたので、その結果の概要を開示いたします。

1. 評価方法・プロセス

(1) 実施方法

取締役会事務局作成のアンケートによる自己評価方式

(2) 実施期間

2021 年 11 月 26 日～2021 年 12 月 6 日

(3) 対象者

取締役 5 名（うち社外取締役 1 名）、監査役 3 名（うち社外監査役 2 名）

(4) 質問事項 計 22 問

- ①取締役会の構成（5 問）
- ②取締役会の運営（5 問）
- ③取締役会の課題（7 問）
- ④取締役会を支える体制（5 問）

2. 評価結果の概要

- (1) 取締役会で審議を行う上で、社外取締役の人数等、改善点はあるものの活発な議論・意見交換が行われており、適切に機能していると判断しております。
- (2) 当社では、取締役会における議論の質的向上を図るため取締役会資料を完全ペーパーレス化するとともに、必要に応じ、役員への事前説明を実施しております。
- (3) トレーニングについては、役員からも必要な講座等の申告を受け、費用を負担するフローとする。

3. 今後の課題

- (1) 更なるガバナンス強化のため社外取締役の増員・特別委員会の設置を検討してまいります。
- (2) 議事資料の提出時期、リスク等についての議論の機会を増やしていくことが課題であると認識しており、課題解決に向け検討してまいります。

以上